

# 令和2年度事業結果報告

## 概 要

前年度の末に発生し全世界で猛威を振るう新型コロナ感染症は、一向に終息を迎えず、マスク着用や消毒、三密（密集・密接・密閉）対策に加え、年度中に2度の緊急事態宣言が発令されるなど、私達の日常の行動にも大きな制限を強いる事態となりました。当センターにおいても年間を通じ、指定管理施設「弁天池公園」の春・秋の恒例イベントや他団体が開催するイベントなどがごとく中止となり、元気な会員の皆さんの動員力が活動の根幹をなす当センターの事業モデルを揺るがす1年となりました。

結果として、シルバー人材センター事業の成功事例『かどまモデル』の確立を目指しましたが、会員の拡大や魅せる広報戦略、新たな就業場所の開拓も十分に機能せず、事業実績は前年度を下回ることとなりました。

大変厳しい一年ではありましたが、センター設立40周年を迎え、コロナ感染拡大が一時減衰した秋季には設立40周年記念式典を盛大に開催することが出来ました。コロナ感染対策チームを立ち上げ、ソーシャルディスタンス等を徹底し、約900名のご来賓、来場者をお迎えし、気象予報士の正木明氏の講演や歌と踊りのファッションショー『カドマダムッシュの集い』など、盛りだくさんの記念日となりました。また、ゾンビメイク教室で始まった設立40周年記念映画「門真市ゾンビ人材センター」の撮影は順調に進み、無事にクランクアップを迎えることが出来ました。

また、門真市シルバー人材センターが平成23年度より取り組んで来ました中長期計画「設立40周年へのマスタープラン」の最終年度として活動の総括を行うと同時に、新たに次の10年へ向け、第二次中長期計画を策定し、全国のシルバー人材センター事業の模範となるセンターを目指すこととしました。

なお、本年度の活動の詳細を、以下の通り報告いたします。

- 【1】入会促進のため、様々な場所に入会相談所を開設し周知を図りました。また、メディア発信や市広報紙、地域情報誌等の活用やSNSの発信などを駆使し、センター活動の紹介を行いました。
- 【2】生きがい就業、労働者派遣事業、職業紹介事業を実施し、多様な就業機会の提供と開拓に努めました。また、センター自主事業として「介護保険事業」・「新総合事業」・「第2層生活支援事業」・「福祉有償運送事業」・「介護予防福祉作業所『ハッピーエール』」等の福祉関連事業、「貸農園」・「レンコン栽培事業」等の農業関連事業、高齢者が集う目的とした「地域サロン『つどエール』」・「喫茶チエブクロー」などの創意工夫による就業場所の開拓拡大に努めました。
- 【3】普及啓発の取り組みとして、～おかげさまで40周年～手をとって笑顔輝く「明日へ」を掲げ、設立40周年記念実行委員会・女性活躍委員会が中心となり市民にPRしました。また、普及啓発部会により市役所及びイオン古川橋駅前店での入会促進やボランティア推進委員により月2回の美化清掃活動を実施しました。
- 【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る取り組みとして、国・府・市からの適切な指導の下、定款や諸規程に準拠した事業運営に努めました。

【5】安全、適正就業の取り組みについて、事故ゼロを目指して、安全就業推進委員による「安全パトロール」を実施しました。また、全会員の受講を必須とする適正就業特別研修会を開催し、適正な就業や就業の質・会員のモラルの向上を図りました。

【6】法人組織の活性化を目指して、理事会を中心とした組織運営に努めました。「安全・適正」・「就業開拓」・「普及啓発」の専門部会と各委員会が連携し、「会員の安全と健康」・「就業機会の拡大」・「普及啓発活動の推進」に努めました。また、迅速な事業運営を図るため、理事会に補完して毎月「三役部会長会議」を開催、情報共有に努めました。

【7】外部委員を迎えて第二次中長期計画策定委員会を立ち上げ、慎重に審議を重ね、次の10年に向けての第二次の中長期計画を策定しました。

## 事業数値目標に対する結果

本年度の目標数値に対して、以下の結果となりました。

	事業数値目標	令和2年度結果	達成 (%)	対前年度	
①正会員数	1, 8 0 0	1, 6 5 6	9 2.0%	△ 4 0	
新入会員数 (人)	2 8 0	1 7 1	6 1.1%	△ 4 4	
②契約件数	受託事業 (件)	5, 0 0 0	4, 3 4 0	8 6.8%	△ 5 0 5
派遣事業 (件)	4 2 0	4 4 5	1 0 0.6%	4 8	
③契約金額	受託事業 (千円)	4 1 0, 0 0 0	3 8 6, 6 8 1	9 4.4%	△ 2 2, 1 3 7
派遣事業 (千円)	3 1 0, 0 0 0	2 9 2, 3 9 1	9 4.4%	1 6, 4 1 2	
④就業率 (%)	9 0	9 1.2	—	5.1	
⑤就業実人員	受託事業 (人員)	1, 3 0 0	1, 2 1 1	9 3.2%	△ 8 5
派遣事業 (人員)	4 2 0	4 4 6	1 0 6.2%	△ 7	
⑥就業延人員	受託事業 (人員)	1 2 2, 0 0 0	1 1 1, 9 3 3	9 1.8%	△ 8, 2 9 4
派遣事業 (人員)	5 6, 0 0 0	5 5, 6 4 7	9 9.4%	△ 9 1 0	

## 具体的に実施した事業

### 【1】会員数を増やす

1、入会説明会は、以下のとおり開催いたしました。

①センター大会議室	10回開催	参加者数	103名
②市民プラザ	10回開催	参加者数	57名
③弁天池公園	9回開催	参加者数	32名

新入会研修会及び就業体験会を以下のとおり開催いたしました。

①センター大会議室	13回開催	参加者数	129名
②弁天池公園	15回開催	参加者数	45名

(四半期ごとの増減)

会員増減数(人)	第1期	第2期	第3期	第4期	最終増
令和2年度(各期間)	60	35	50	-57	85
令和元年度実績	52	28	37	-80	37

2、魅力あるセンターづくりの推進

『シルバーフレンドリーショップ』での魅力づくりを図る予定でしたが、コロナ禍で訪問を実施しませんでした。

3、積極的な入会促進活動の実施

- ①会員口コミによる入会者数 61名
- ②会員紹介キャンペーンによる入会者数 8名

4、在会5年、10年の聞き取りアンケートを実施し、会員の現状把握と退会の抑制に努めました。

- ①平成21年度入会対象会員 90名、実施者 57名
- ②平成26年度入会対象会員 101名、実施者 69名

5、女性活躍委員会を中心に女性の会員拡大や就業機会拡大に取り組みました。

- ①レンコン染め物講習会 受講者数 12名(実施月日)9月7日
- ②ファッションショー【カドマダムツシュの集い】

6、各種イベントの開催時にPRブースを設け、積極的に入会の促進を図りました。

シルバー便利やDay 18回開催

7、ホームページのリニューアルやメディアによる媒体での情報発信を図りました。

- ①市広報紙に会員募集記事掲載 (8月号・12月号)
- ②FM HANAKO への出演 8回
- ③週刊大阪日日新聞へ就業紹介の記事掲載 6回

## 【2】就業機会を拡大する

### (1) 生きがい就業の推進

高齢者の生きがい就業の機会を拡大する為に、請負・委任、労働者派遣、職業紹介の三つの形態を駆使し、積極的な活躍の場を創造しました。

#### 1. 受託事業（請負・委任による就業）

- ・指揮命令が生じない完成が見込める業務については、積極的に請負・委任契約による就業機会の拡大に努め、新たに12件の新規継続契約を締結いたしました。
- ・お客様と委託契約を取り交わし、契約・使用内容に基づく業務について、295件の受注契約を締結し適正に履行しました。
- ・会員の平均年齢の上昇に伴い、学校施設の消毒業務など、高年齢の会員の方でも取り組める、より軽易な就業の確保に努めました。
- ・未就業の会員の方でも取り組みやすい、管理区域の一斉清掃など、臨時・単発作業の確保の充実を図り、52名の会員に就業の機会を提供しました。

(四半期ごと)

受託事業契約金額（千円）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和2年度実績	87,394	185,280	294,965	386,809
令和2年度各期末目標	102,285	209,607	316,619	410,000

#### 2. 労働者派遣事業

- ・請負・委任に馴染まない指揮命令が生じる業務について、本年度2件派遣契約に切り替え就業機会の拡大に努めました。
- ・新たに派遣により就業を行う会員に対しては、101名の会員に対し入職時訓練を実施しました。  
また、一定期間派遣就業を行なっている会員に対しては、181名の会員に対しキャリアアップ教育訓練を実施しました。
- ・派遣法の改正に準拠し、派遣労働会員の均衡・均等待遇に対応しました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による会員への休業補償、配置転換に対応しました。

(四半期ごとの目標)

派遣事業契約金額（千円）	第1期	第2期	第3期	第4期
令和2年度実績	70,368	143,579	220,069	292,391
令和2年度各期末目標	74,688	150,588	230,108	310,000

### 3. 職業紹介事業

- ・直接雇用を希望する就業については、有料の職業紹介事業を推奨しましたが、実績件数は0件でした。

### 4. 独自事業等、就業機会拡大する事業

#### ①訪問介護事業・総合支援事業・第二層生活支援コーディネーター業務

- ・介護保険事業・地域支援事業・福祉有償運送事業・第二層生活支援コーディネーター業務・地域交流サロン事業などをまとめ実施する総合福祉事業を実施しました。
- ・訪問介護事業所として介護職員初任者研修の修了者（ヘルパー2級）による訪問介護を実施し、前年度対比128%契約件数が増加しました。

#### 訪問介護事業（目標数値）

年度	令和2年度（目標）	令和2年度実績
訪問介護事業（千円）	10,800	13,961

- ・地域支援事業に参入し、また、地域支援事業に必要な講習会を会員に広く周知し、講習会の受講を促しましたが、コロナ禍で今年度は未受講となりました。
- ・交通弱者の外出支援の為、福祉有償運送事業を継続しました。その結果、登録者数について、前年度対比87%となりました。
- ・地域包括支援センターと連携し介護予防の為の体操「いきいき百歳体操」の普及活動に協力しました。地域出張型サロンを開催し地域交流の拡大に努める予定でしたがコロナ禍の為未開催でした。

#### 二層生活支援コーディネーター業務（目標数値）

年度	令和2年度（目標）	令和2年度実績
通いの場の数（箇所）	15	9

#### ②指定管理事業「弁天池公園」の管理運営

- ・指定管理者として「弁天池公園」施設の管理を引き続き行い、弁天池公園利用者満足度を上げるため、利用者アンケートを実施しました。

#### ③独自事業

- ・当センターが独自に企画運営する事業として、喫茶「チエブクロー」を営業し、対前年度の売上に対し、47%の結果となりました。

地域交流サロン「つどエール」の運営については、コロナ禍において残念ながら稼働率58%となりました。

一般市民を対象とした市民貸農園の運営管理につきましては、90%の稼働率となり、利用者満足度の向上の為、利用者アンケートに取組みました。

#### ④地域就業機会創出・拡大事業

- ・地方公共団体や商工団体等と連携して、地域企業の活性化や労働力不足の解決、地域・経済の維持・発展等につながる新たな就業機会を創出する事業を継続しました。
- ・門真市特産のレンコンをメインに栽培する「伝統野菜栽培促進活用事業」を実施しました。レンコン等の栽培・販売を主体に会員就業機会の拡大を図りました。

##### 伝統野菜栽培促進活用事業（目標数値）

年度	令和2年度（目標）	令和2年度実績
契約金額（千円）	1,200	1,646
就業延人員（延人員）	1,400	1,289

- ・商店街の空き店舗を活用し、会員の体力に合わせて働くことが出来る軽作業を提供し介護予防を目的とした作業所を展開しました。また、作業所2・3階を利用し徹底したコロナ感染予防対策の中、特技を有する会員が活躍できるカルチャー教室や事務局通信折込作業・同好会の会合等を開催しました。

##### 福祉作業所で育児支援・地域交流・世代間交流活性化事業（目標数値）

年度	令和2年度（目標）	令和2年度
契約金額（千円）	792	1,306
就業延人員（延人員）	1,320	1,259

#### (2) 就業の質の向上

##### 技能研修会の参加

- ・大阪府シルバー人材センター協議会主催の高齢者活躍人材確保育成事業『クリーンスタッフ講習』開催に協力・参加し、技術・技能の向上に努めました。
- ・職域班研修を実施し、就業の質の向上・安全確保・トラブル防止を図りました。
- ・くすのき広域連合主催の生活支援サービス従事者研修や、各種関連団体による講習会の参加はコロナ禍で自粛しました。

### 【3】普及啓発活動を推進する

#### 1. センターが主体となる普及啓発活動

- ①弁天池公園イベント実行委員会を組織し、指定管理施設「門真市立弁天池公園」で、スプリングカーニバル（4月29日）、ふれ愛感謝祭（11月23日）を開催する予定でしたが、コロナ禍で今年度は未開催でした。
- ②清掃ボランティア活動として、弁天池公園清掃活動（毎月第1土曜日）市内清掃活動（毎月第3土曜日）を年18回開催しました。
- ③シルバー便利やDay（毎月第1・第3月曜日）を市役所ロビー・センター事務所前

で年18回の開催しました。

④伝統野菜栽培促進活用事業にて、蓮の葉遊び・収穫体験会を実施し、読売新聞や朝日新聞の紙面、NHKラジオなどのメディアにて普及啓発活動を実施しました。

⑤門真ふるさと納税返礼品に新たに『手作りマスク』や『伝統野菜のかどま蓮根』を追加しました。

## 2. 他団体と協働し行う普及啓発活動

①門真市民プラザで行う「プラザ de 門真もん市」（毎月第2日曜日）を共催する予定でしたが、コロナ禍で今年度中は未開催となりました。

②「ふるさと門真まつり」の実行委員会に参画し準備を進めましたが、コロナ禍で今年度は未開催でした。

③『EXPO20KADOMARENKON』を開催し、事業のPR冊子『かどま蓮根』を発行しました。

④40周年記念事業の展示を門真市民プラザにて実施しました。

## 3. 他団体が行う事業に協賛し行う普及啓発活動

地方公共団体や、市民団体、企業団体、NPO等が開催を予定しておりましたが、コロナ禍で今年度は未開催となりました。

(2) 機関紙やマスメディア、またはソーシャルネットワークを駆使した広報活動を行いました。

1. 機関紙「門真市シルバー人材だより」を発行し4月及び10月に全戸配布しました。

2. 読売新聞社よりシルバー事業についての記事が掲載されました。また、40周年記念事業「門真市ゾンビ人材センター」や就業機会拡大事業の門真レンコン活動の様子を新聞・ラジオ等に取り上げられました。

3. 週刊大阪日日新聞に会員活躍状況などの記事広告を年6回掲載しました。

4. HP、地域情報サイト「まいふれ守口・門真」、SNS等を利用し普及啓発に努めセンター事業の広報活動を行いました。

(3) ボランティア活動の推進

1. 協働できる団体や市民と連携を図りましたが、コロナ禍において中止となりました。

2. ボランティア推進委員会を中心に、年間のボランティア清掃活動事業の年間計画を作成し、年18回の清掃活動を実施しました。

3. 毎週金曜日に公用車を使用し、地域の安全防犯活動として、年20回青色防犯パトロールを市内全域で活動し地域貢献しました。

#### (4) フレンドリーショップの活用

1. フレンドリーショップ加盟店への就業開拓を実施し、会員の就業機会拡大を図る予定でしたが、コロナ禍で訪問を実施しませんでした。
2. フレンドリーショップ加盟店相互のコラボレーション商品の開発など、マッチング業務を進める予定でしたが、コロナ禍で実施しませんでした。

#### 【4】公益社団法人としてのガバナンスの徹底を図る

1. 法令遵守と諸規程の整備、遵守に努めました。また、理事会に審議案件21件を上程し、議決しました。
2. ホームページへの掲載、事務所掲示板への開示及び情報公開資料の設置など情報公開に努めました。
3. 個人情報保護方針に基づき個人情報の保護に努めました。
4. 同一労働、同一賃金等の労働環境の整備を整えました。

#### 【5】安全・適正就業を推進する

1. 安全就業を推進し安全就業の推進に努めました。
  - ① コロナ禍の影響を受け、自転車講習会の開催を見合わせました。
  - ② 運転業務に携わる会員に対し、自動車安全運転講習を図り、52名の会員が受講しました。
  - ③ 安全就業推進委員会による交通専従委員を対象とした安全パトロールを実施しました。
  - ④ 門真警察署の協力を得て、自転車安全のための冊子を配布しました。
  - ⑤ 賠償事故2件、傷害事故3件発生しました。事故の再発防止のため、事故内容の検証を行い事故事例の公開周知を徹底しました。
  - ⑥ 救急救命講習は、コロナ禍で開催を自粛しました。
  - ⑦ 事務局通信に掲載し、自転車保険の加入を推進しました。
2. 適正就業の推進
  - ① 全会員対象とした適正就業特別研修会は感染症拡大防止のため、会場での開催に代え、書面（事務局通信）での受講形式をとりました。
  - ② 適正就業特別研修会を実施し、『適正就業ガイドライン』を周知徹底し、就業の適正化及びモラル向上、安全確保、トラブル防止、就業の質の向上に努めました。
  - ③ 就業の現況調査に努め、適正な情報に修正し、契約内容の再確認に努めました。



### 3. 自己健康管理、健康診断の推進

- ①事務局通信等で呼びかけ、市民健康診断の受診を推奨しました。
- ②「会員の心得」を遵守し、マナー・健康には常に注意し、就業するよう、適正就業特別研修会で啓発しました。
- ③ 製薬会社と打ち合わせを重ね、認知症予防のための取組みを進めました。

## 【6】法人組織の活性化を目指す

### 1. 理事会

- ①公益社団法人としての組織運営の活性化に努めました。
- ②理念を現実にする最高の執行機関として、総会で3件の審議案件を上程し、全ての案件が決議されました。
- ③公益認定委員会や国、府、市の指導に従い、コンプライアンスの徹底を図り、法人組織の適正な運営に努めました。

### 2. 三役部会

- ①「安全・適正部会」、「就業開拓部会」、「普及啓発部会」を中心とし、具体的事業計画に基づき部会運営に努めました。
- ②理事長、副理事長、部会長で毎月15日に会議を開催し、具体的事業内容の連絡調整に努めましたが、1月・2月の2回については緊急事態宣言下の為、開催を中止いたしました。
- ③総会、理事会の審議案件について立案をしました。

### 3. 各種委員会

- ①「安全就業」「適正就業」「女性活躍」「清掃ボランティア」「イベント推進」の具体的目的を有した委員会を運営し、活性化に努めました。
- ②知識、経験、経歴を参考とし、新たな人材を委員として登用し法人組織の活性化に努めました。

### 4. 事務局体制の充実

- ①定款や諸規程、理事会の議決に従い、迅速かつ的確な業務運営の遂行に努めました。
- ②公認会計事務所の指導の下、公益会計基準に準拠した適正な会計処理に努めました。
- ③全シ協及び大阪府法務課からの法令及び定款、諸規定の変更に従い法人状況を正しく示し事業の充実を図りました。

### 5. 法人運営を活性化する取組み

各理事が責任を持つ担当理事制を実施しました。

(1) 第一次中長期計画の進捗管理

- ・半期ごとに中長期計画「設立40周年へのマスタープラン」推進委員会による、計画の進捗管理と検証を実施しました。

(2) 設立40周年記念事業

- ・10月17日開催の「設立40周年記念」式典に向け実行委員会を中心とした運営に努め900名の来場者数を数えました。
- ・「おかげさまで40周年」を合言葉に、『シルバーだより』や『40周年記念ポロシャツ』を作成し、年間を通じ市内の普及啓発に努めました。
- ・公認同好会を中心とした市民参加イベントを実施しました。残念ながら、一部コロナ禍で、イベントが延期となりました。

(3) 地域班の取組み

- ・4ブロック17地域の地域班組織から新たな組織体制として、門真市が実施している中学校地域会議と同様な地域班体制を、2年後の再編に向け協議しました。
- ・コロナ禍において、ブロック懇談会の開催を見送りました。

(4) 職域班の取組み

- ・植木剪定班・除草班・公共班・清掃班等、職域班を対象とした研修、ミーティングを行ない就業の質の向上を図りました。

**【7】 次の十年に向けて第2次中長期計画の策定**

設立50周年へ向けた中長期計画策定のため、学識経験者・発注者・行政担当・会員にて編成された『第二次中長期計画策定委員会』を立ち上げ、年度中4回の会議を経て第二次中長期計画を策定しました。